

★新規事業開拓・農参入をお考えの方へ。参入後の事業運用にお困りの方々への特効薬!

# アグリビジネス新規参入の判断と手引き

～異業種からの参入事例集／ビジネス性の考察と将来展望～

発刊：2016年1月20日 定価：70,400円(税込(消費税10%)) 体裁：B5判ソフトカバー 609頁

## 何が障壁となるのか?事業化成功のポイントとは?参入事例から見るアグリビジネス最前線!

- ◆国内外の市場動向から見るアグリビジネスの可能性
- ◆植物工場／薬用植物／陸上養殖／藻類 各事業別の取り組み事例
- ◆異業種からの農業新規参入事例 11例
- ◆不首尾・撤退事例から見る参入時の経営戦略分析～失敗しない為には?事業成功のカギとは～
- ◆アグリビジネス将来展望・国内農業再生論～一次産業としての農業～

### <事業化に向けての基礎知識>

- ビジネスモデル構築指南  
～生産・販売・事業成功の為の考え方～
- 国内市場及び農業参入の動向
- 行政書士2名による農業参入に関わる法規制解説  
～農地確保／補助金利用方法／参入への具体的手順
- 各省庁が考える農業施策意向(農林水産省／経済産業省)
- 何を作れば良いのか?今後注目の品目、分野
- 国内農業再生の具体的方策

### <異業種からの農業参入事例>

- 既存事業での経験をどう活かし、立ち上げたか?
- 運用・管理上のトラブルと対応策
- イニシャルコストと収支一例
- ブランド化・商品として付加価値を高める為の取り組み
- 流通・販路開拓の取り組み
- 経験に基づいた、参入検討者へのアドバイス  
(近隣との交流／害獣・災害対策／人的・設備管理／採算性／農業を行う上での心構え・・・)

### <事業内容別アグリビジネス参入事例>

- 各事業の現状及び事業化への課題  
(植物工場／薬用植物／陸上養殖／藻類)
- 各社の取り組み事例  
・栽培技術／養殖技術／機能性成分向上手法紹介  
・運用における課題  
・各分野の将来性と可能性考察

### <不首尾・撤退事例の要因分析>

- 事業撤退までの過程と要因分析  
(なぜ失敗したか?成果を上げていたその裏では・・・)
- 異業種から農へ参入にあたっての留意点  
(工程管理、労務管理の違いなど)
- 失敗事例から学ぶ、事業化成功への鍵  
(理念の共有／地域社会との係り方／革新性の重要性／パートナー選定／司令塔の存在／契約の方法など)

### 【執筆者一覧(敬称略)】

- 三輪泰史(株)日本総合研究所 ●埜野俊介(農林水産省) ●田中康晃(田中やすあき行政書士事務所) ●川村朋哉(経済産業省)
- 前之園博一(前之園行政書士事務所) ●松尾誠也(株式会社NP) ●森康裕((一財)社会開発研究センター) ●渡邊高志(熊本大学)
- 遠藤雅人(東京海洋大学) ●鷲見芳彦(北海道大学) ●岩佐大輝(株)GRAアグリプラットフォーム ●渡辺周(株)GRAアグリプラットフォーム)
- 高橋大喜(日本アドバンスアグリ株) ●山本将嗣(日本アドバンスアグリ株) ●小豆澤斉((株)農援隊) ●荻原勲(東京農工大学)
- 田中逸夫(岐阜大学) ●菱田敦之(医薬基盤・健康・栄養研究所) ●林 茂樹(医薬基盤・健康・栄養研究所) ●野口勝明((株)環境生物化学研究所)
- Aragon St-Charles(日本アクアポニクス) ●福永 哲也(出光興産株) ●鈴木健吾(株)ユーグレナ ●澤田裕樹(鹿島建設株) ●大仲克俊(岡山大学)
- 藤本真狩(イノプレックス) ●田中利忠(株)湘南情報東京 ●谷澤孝欣(パナソニック株)エコソリューションズ社 ●由井真子(日本豊受自然農株)
- 山本寛(近鉄グループホールディングス株) ●杉本明義(矢崎総業株) ●小川弘樹(株)コロナアグリ ●渡邊康之(諏訪東京理科大学)
- 建部真一(株)ヴェルデオンコンサルティングジャパン ●武田猛(株)グローバルニュートリショングループ)

FAX : 03-5740-8766、または、→ <https://johokiko.co.jp/publishing/BC160102.php>

※FAX番号はくれぐれお間違えの無い様お願い致します。

### ★書籍申込書

(書籍申し込み要領)

- 右記記入の上、FAXでお申込を承ります。
- お申込書を確認次第、書籍、請求書および振込要領をお送りいたします。
- 未発刊の書籍をお申込の場合、申込書を確認次第、受領書をお送りいたします。  
発刊時に弊社より書籍、請求書および振込要領をご送付いたします(送料は弊社負担)
- お支払いは請求日翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。原則として領収証の発行はいたしません。
- 振り込み手数料はご負担ください。

書籍名 H P 【BC160102】 アグリビジネス新規参入の判断と手引き 書籍		冊数 ____冊 ※記入の無い場合は1冊
会社名		
所属部課・役職等		
申込者氏名	TEL	FAX
E-MAIL	上司役職・氏名	
住所〒		
備考		
ご案内をご希望の場合は今後の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可) <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送		

ご連絡頂いた、個人情報は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。今後のサービス向上のため「個人情報の取扱いに関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先policy@johokiko.co.jp

構成及び内容

<第1部 アグリビジネスの概要と参入への具体的手順>  
第1章 <検討段階の貴方へ>アグリビジネスを始める上での基礎知識

1. アグリビジネスの定義と概要
2. バリューチェーンの全体像と主なプレイヤーの構成
3. 農業生産ビジネスに参入する上で考慮すべき法規制
4. 国内市場及び農業参入の動向
5. 海外市場への展開

第2章 農業参入手続きの前提条件

1. 農地確保までの基礎知識
2. 一般法人の農業参入基礎知識

第3章 政府の農業関連支援施策

- 第1節 農林水産省の取り組み
1. 六次産業化の政策的位置づけ
  2. 六次産業化の推進に係る主な支援策
  3. 六次産業化の更なる推進に向けて

第2節 経済産業省の取り組み

1. 農業は地域経済の基幹産業
2. 農商連携の推進
3. 農産物及び関連商品の輸出促進
4. 植物工場

第3節 補助金制度

1. 補助金のメリット・デメリット
2. 補助金の共通事項と申請スケジュール等
3. 国の補助金解説
4. 都道府県の補助金
5. その他の資金調達制度
6. まとめ

第4章 形態に応じた参入の具体的手順

第1節 3つの参入形態

1. 新規法人設立(新規に別法人を設立し農業生産法人化する)
2. 既存の法人を農業生産法人化する
3. 改正農地法を活用して農業参入する方法
4. 手続きの流れ(全体像)

第2節 各参入形態の留意点

1. 3つの方法の選択
2. 農地の確保
3. 手続き上の留意点

第5章 ビジネスモデル構築

1. 生産
2. 販売
3. ビジネス成功の為の考え方<br>

第6章 事業化の前に把握すべき主なアグリビジネス事業の現状と課題

第1節 完全人工光型植物工場

1. 概要
2. 植物工場関連技術解説
3. LED植物工場の採算性と課題

第2節 薬用植物

1. 薬用植物の種類と概要(食用・薬用・観賞用)
2. 業界を取り巻く現状～中国の現状/日本の将来に向けた準備

第3節 陸上養殖

1. 陸上養殖
2. 養殖技術
3. 業界を取り巻く現状
4. 今後の展望

第4節 新規アグリビジネスとしての微細藻類の産業化

1. 微細藻類への期待
2. 微細藻類活用の領域
3. 各マーケットの規模
4. 産業化プロセス構造とバリューチェーン
5. 産業化への取り組み
6. 震災復興への新産業構造構築

<第2部 アグリビジネス参入事例>

第7章 事業内容別アグリビジネス参入事例

第1節 植物工場事業

第1項 イチゴ

1. 参入背景
2. GRAの参入事例
3. 今後の展開

第2項 機能性野菜

1. アイスプラント栽培に用いるストレス負荷型栽培
2. 三波長ワイドバンドLEDについて
3. 塩性ブルピエ(ブランド名:ロザリナ)生株のα-リノレン酸含有量における実験

4. おわりに

第3項 トマト

1. 農業参入の背景
2. 農外企業参入の課題と対策
3. 既存事業との接点

4. 施設栽培トマト生産に係る設備
5. イニシャルコストと収支
6. 実際の運用と課題
7. 生産体制
8. 付加価値を高めるための対策
9. 流通・販路開拓方法

第4項 ブルーベリー

1. ブルーベリーの種類と出荷時期
2. ブルーベリーの促成栽培法
3. 周年出荷する革新的な栽培法の提案
4. 果樹苗生産工場を核としたレンタル苗によるブルーベリーのビジネスモデル

第5項 ワサビ

1. ワサビ植物工場栽培の背景
2. ワサビの人工光型植物工場生産に向けて実施した基礎研究
3. コンテナ式植物工場でのワサビ栽培と採算性の評価
4. アグリビジネスとしての展望

第6項 グリーンリーフ

1. 光質別の電力均一試験(フリリアイス)
2. 三波長型ワイドバンドLEDの光質比較試験

第2節 薬用植物

第1項 甘草

- 栽培方法/環境適性/種苗/直播栽培と移植栽培  
品質/栽培の課題/事業化の事例

第3節 陸上養殖

第1項 トラフグ

1. 地域活性化
2. 陸上閉鎖循環養殖技術
3. 全国展開中の養殖場の現状と問題点

第2項 アクアポニックス

1. 再循環養殖技術から発展する近代アクアポニックス
2. だれがアクアポニックスを始めるのか?
3. アクアポニックス農園の始め方
4. アクアポニックスにおける脱窒
5. コストと未来開発

第4節 藻類

第1項 微細藻類からのDrop-in-Fuel製造

1. バイオマス燃料関連の政策・規制
2. Drop-in Fuel
3. 微細藻類からのDrop-in Fuel製造
4. まとめ
5. 今後の展望

第2項 藻類の食品利用展開とその有用性

1. ユーグレナの特徴と食利用の有用性について
2. クロレラの特徴と食利用の有用性について
3. オートランチオキトリウムの可能性について
4. 総括

第5節 参入者業種別参入事例

第1項 鹿島建設の植物工場エンジニアリングへの取り組み

1. はじめに
2. 太陽光利用型植物工場に関する取り組み
3. 人工光型植物工場
4. 遺伝子組換え植物工場
5. 薬用植物生産のための植物工場に関する取り組み
6. おわりに

第2項 空き施設活用型事例

1. 空き施設活用型モデル
2. 空き施設活用型のメリット
3. ケース事例① 株式会社野菜工房(空き施設活用型モデル)
4. ケース事例② 株式会社ハートフルマネジメント(空き施設活用型モデル)

第3項 ソフトウェア業界からの参入事例～観光農園

1. 企業の農業参入 背景
2. 当社の農業参入目的
3. 大磯町の位置的優位性
4. 農業参入までの経緯
5. 観光農園の利用企業・利用検討企業
6. 野菜の販売ルート・流通
7. 農業参入の利点と難点
8. 補助金制度等(参考まで)
9. 農業参入から展開したコンサルティング事業
10. 農業参入の為のアドバイス

第4項 社会福祉業界からの参入事例

1. 障害者雇用型モデルの参入動向
2. 障害者雇用型モデルのメリット
3. ケース事例① 株式会社山形包徳(障害者雇用型モデル)
4. ケース事例② 社会福祉法人日本キリスト教奉仕団アガベ東京センター(空き施設活用型)

第5項 自然化粧品事業からの参入事例

1. 自然型農業&6次産業化を特徴とするビジネスモデル

2. 農業参入のきっかけ
3. へちま ハーブの栽培と土地取得の失敗
4. 洞爺でのハーブ栽培1年目はまさかの全滅
5. 静岡・函南農場の立ち上げ
6. 食と農業の大切さに気付き農業に取り組む決心
7. 東京での豊受オーガニクスショップ&レストラン
8. 新しいビジネスモデルの社会への発信
9. 6次産業化で取り組みビジネスとして成功させるには
10. 新規参入企業へのアドバイス

第6項 運輸・鉄道業界からの参入事例

1. 近鉄グループの概要
2. 農業ビジネス参入の背景
3. 近鉄ふあーむ花吉野の特徴
4. これまでの経験
5. 今後の展開

第7項 食品メーカーからの参入事例

1. 食品企業の農業参入の現状
2. 食品企業の農業参入で抱える課題
3. 惣菜販売・加工企業T法人の農業経営の展開
4. 酒造メーカーの農業参入ー水田農業分野への農業参入ー

第8項 部品・部品会社からの参入事例

1. 奥越部品(株)の食品リサイクル事業への取り組み
2. おからスーパー有機の製造
3. 奥越部品(株)のアグリ事業
4. 今後の取り組み

第9項 機器メーカーからの参入事例

1. 農業参入の背景
2. 農業生産法人の設立
3. 事業計画と運用の課題
4. 販路開拓事例
5. 企業の農業参入の意義

第10項 電気メーカーからの参入事例

1. はじめに
2. 参入背景
3. 当社が提案するパッシブハウス型農業プラントのシステム・機器構成
4. 生産者メリット
5. 立ち上げ過程
6. 課題と今後の展開

第11項 有機薄膜太陽電池を用いた発電するビニールハウスの取り組み事例

1. 参入背景
2. 発電するビニールハウス開発のためのコンセプト
3. シースルー有機薄膜太陽電池を用いた植物栽培実証実験

4. 農業用シースルー有機薄膜太陽電池開発の指針

5. 発電するビニールハウスのモデル例
6. ソーラーシェアリングとの比較
7. 事業化に向けて

第8章 不首尾・撤退事例と要因分析～よく見られる特徴とリスク低減プラン～

第1節 異業種からの農業分野への参入事例研究

1. 異業種から農への参入に当たった留意点
2. 企業の農業参入事例研究
3. 本事例から学ぶこと

第2節 香港での植物工場設立についてその計画・実践・成功及び失敗

1. 何故進出したのか
2. プロジェクトとリスク
3. 完成と成功
4. 結末
5. まとめ
6. おわりに(参入検討者へ向けて)

第3部 今後の注目分野とアグリビジネスの将来性

第9章 注目トピックス

第1節 機能性表示制度改正

- 制度の概要/届出状況/今後の課題  
機能性表示食品制度導入による市場の変化
- 第2節 特徴ある成分を含有した薬用植物の栽培  
閉鎖型植物工場を活用した遺伝子組換え植物  
/南九州のシラスを含む畑でも栽培可能な品種  
/多雪地帯で栽培可能な品種/温暖多湿な地域で栽培可能な品種 etc

第10章 アグリビジネス将来予測～業界展望の考察～

1. 日本の農業の状況
2. 日本の農業政策
3. 農業の再生
4. アグリビジネスの将来予測

第11章 アグリビジネスよくあるQ&A

- 第1節 アグリビジネス全般
- 第2節 植物工場 ・栽培、販売時に係る法律は?
- 第3節 薬用植物 ・今後の市場性と有望テーマは?
- 第4節 陸上養殖 etc